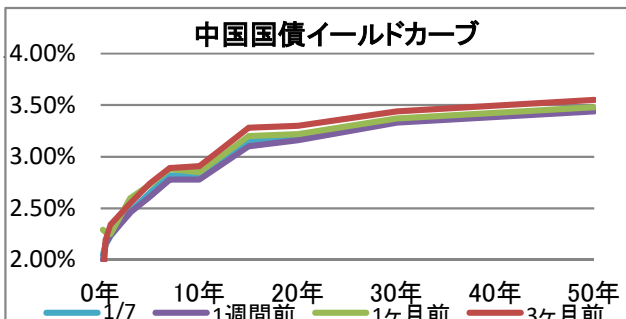
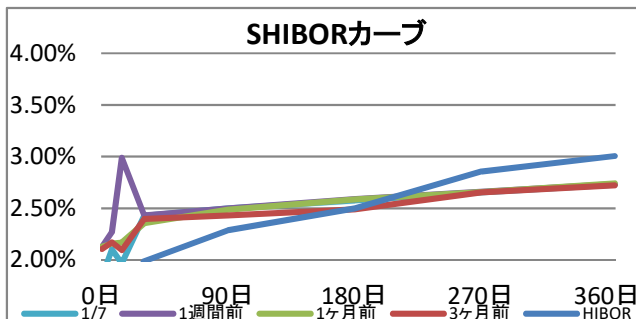


①市場概況

基準レート		2022/1/7	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3742	-0.0015
	JPY/CNY	5.5002	-0.0413
SHIBOR	3M	2.5000%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.82%	+0.04%
上海総合指数		3,579.54	-60.24



(1) 概況

国際金融市場は、オミクロン株感染拡大の経済への影響と米国の金融政策の先行きを占うFOMC議事要旨と雇用統計が注目を集めた。オミクロン株への懸念が後退する一方でFOMC議事要旨での金融引き締め加速への懸念が高まったことから株式市場の上値は重く、債券市場は急落（利回り急上昇）となる展開となった。

中国金融市場も、経済指標の改善が確認される一方で、不動産企業の経営不振が拡大し、中国政府のIT企業に対する規制強化への懸念も再燃しており、株式市場は下落し、債券市場も米国金融引き締め加速による利回り格差縮小による国外資金流入減少懸念から下落（利回り上昇）に転じて10年国債の利回りは2.8%に戻っている。

中国では、IT企業の海外上場に対する規制の強化や事業運営に対する罰金等による厳しい対応が注目される一方、減税期限延長等による短期の経済支援策に加え、不動産規制緩和や要素市場化配置制度構築による中期的な経済の効率化を推進する姿勢が示されている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日7,000億元に対し、新規のリバースオペ400億元の資金供給を実施し、6,600億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

財新PMI（12月）は、製造業が50.9（11月49.1）、非製造業が53.1（同52.1）、総合53.0（同51.2）に改善している。新規受注が海外を中心に伸び、生産の回復も確認できるものの、国内でのCOVID-19感染拡大による経済への影響や雇用の伸び悩みが懸念される内容となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8390%	1.8300%	2.0000%	
1W	2.1030%	4.0000%	1.8000%	
2W	1.9660%	1.9500%	2.0500%	
1M	2.4300%	2.4000%	2.6500%	2.2800%
3M	2.5000%	5.2000%	3.5000%	2.4250%
6M	2.5780%	3.5000%		2.5500%
9M	2.6560%	3.0000%		2.5600%
12M	2.7290%			2.5950%

中国人民銀行の計画的な資金供給により波乱なく年末を越え、年末越え資金の吸収が続けられているものの市場は安定している。ターム物は1ヶ月の2.6%を中心とする出会いを除き限定的。

NCDも、経済指標の改善と資金吸収が続く環境ながら金融緩和への期待もあって長めの期間を中心に活発に取引されている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.25～3.0%、3ヶ月が2.40%前後、6ヶ月が2.55%前後、1年が2.60%前後を中心にとり取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.13%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.45%	0.50%

年初のドル資金市場も需給に大きな変化はなく、ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10～0.15%、3ヶ月は0.30%前後、6ヶ月は0.40%前後。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.05%	2.10%	2.35%	2.57%	2.88%
6M	2.15%	2.17%	2.50%	2.65%	2.97%
1Y	2.23%	2.30%	2.61%	2.69%	3.04%
3Y	2.47%	2.70%	2.82%	2.95%	3.70%
5Y	2.65%	2.86%	3.11%	3.26%	4.17%
10Y	2.82%	3.17%	3.48%	3.71%	4.63%

債券市場では、国内経済指標の改善や米国金融引き締め懸念がある一方、政府の中小企業支援姿勢による金融緩和期待も強く、中長期国債が弱含む（利回り上昇）する一方で短期債利回りが年末要因の剥落も手伝い低下する展開となった。イールドカーブは、上記要因からスティーピングし、クレジットスプレッドは国債利回りの上昇により若干縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	25.0 / 25.3
1 M	143.5 / 144.5
3M	385.1 / 387.9
6M	744.5 / 746.9
9M	1090.5 / 1093.9
12M	1394.0 / 1398.0

対ドル基準レートは6.3742と前週末比-15pipsのドル安元高、対円基準レートは5.5002と同-413pipsの円安元高と、対ドルでは概ね前週末と同水準。国内市場では、当局の元高けん制姿勢への警戒感と米金融引き締めによる金利差縮小期待によるドル高予想が増えつつあることから底堅く推移し、週末の米雇用統計を見極めたいとの姿勢から狭いレンジ内での取引となった。

先物は、人民元金利の低下と米ドル金利の上昇による金利差縮小を織り込む格好でスワップ幅がさらに縮小し、1年物が1400台を割り込んで昨年1月以来となる水準まで縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.22%		2.03%
6M	2.22%	2.50%	2.05%
9M	2.22%	2.51%	2.09%
1Y	2.23%	2.52%	2.09%
3Y	2.39%	2.76%	2.33%
5Y	2.60%	3.02%	
7Y	2.74%	3.19%	
10Y	2.89%	3.35%	

スワップ金利は、利率債利回りの上昇を受けて小幅ながら上昇。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは米中金利差縮小による長期金利上昇懸念の強さからか小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。